

マーケットの動き（2020年3月16日～3月20日）

米国国債、ドイツ国債の金利は、前週末比で上昇しました（債券価格は下落）。
FRB（米連邦準備制度理事会）による緊急利下げに加え量的金融緩和政策の再開、ECB（欧州中央銀行）による量的金融緩和政策の再拡大など、各国主要中央銀行から市場安定化を目的とした緩和策が発表されたことで、一進一退の動きとなり、最終的に上昇して終わりました。

投資環境見通し（2020年3月）

米国、欧州ともに長期金利は景気に対する悲観的な見方を織り込んだ後、上昇へ新型コロナウイルスの感染拡大により当面の間、経済指標は悪化するとみられます。しかし、世界的な経済活動の混乱による景気後退は回避されるとの見方のもと、政策協調や金融当局の対応の効果などから、投資家のリスク回避の動きは一巡するとみられます。米国および欧州の長期金利は、景気に対して過度に悲観的な見方を織り込んだ後、上昇に転じるとみています。

	3月20日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	0.96	0.01	▲0.57	▲0.80	▲1.58
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	478.68	1.57%	▲1.76%	2.94%	4.38%

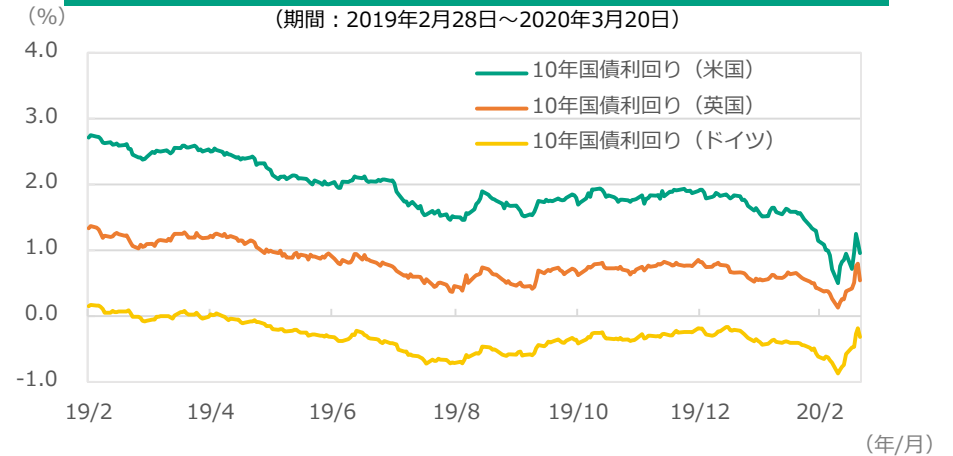
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

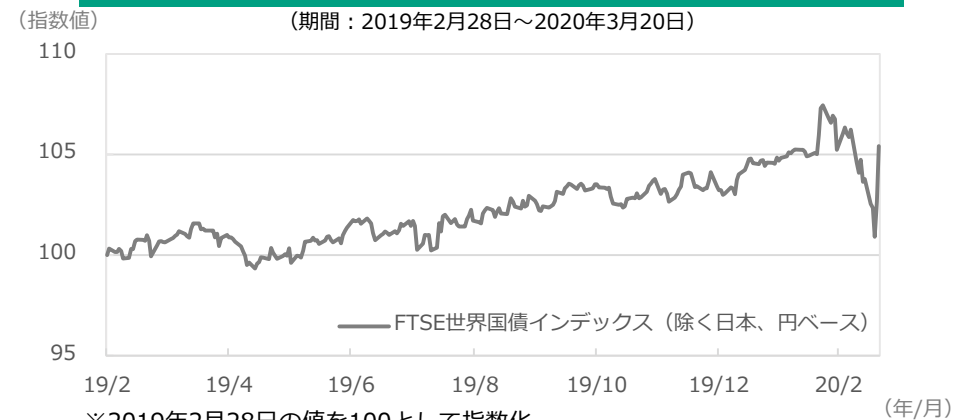
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202003_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

主要国国債利回りの推移



FTSE世界国債指数の推移



※2019年2月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成